

平成27年3月19日
農林水産部水産局漁業資源課
水産総合研究センター東京湾漁業研究所
市川市行徳漁協・船橋市漁協

三番瀬地区アサリ青潮被害調査結果の概要（確定版）

平成26年8月27日から9月3日にかけて三番瀬に波及した青潮による被害状況調査を、関係漁協と県が協力して実施した結果と青潮の波及状況の取りまとめ結果です。

表1 アサリの推定死亡量

場 所	漁業権免許番号	漁協名	青潮前 資源量 (t)	死亡量 (t)	生残量 (t)	減少率 (%)
市川航路 西 側	共第1号	南行徳 市川市行徳	1,380	440	940	32
	短共第2号	船橋市	2,070	1,090	980	53
市川航路 東 側	短共第3号		3,350	2,650	700	79
計			6,800	4,180	2,620	61

1. 被害状況

○アサリ資源の減少率は、市川航路西側の南行徳及び市川市行徳漁協の漁場（共第1号）では32%、船橋漁場（短共第2号）では約50%、市川航路東側の船橋漁場（短共第3号）では約80%であり、東側や岸側で大きな被害を受けた。（表1、裏面図2）

○調査した全域のアサリの推定死亡量は4,180tで、減少率は61%であった。

○ホンビノスガイの被害は、ほとんど確認されなかった。

2. 被害対策等について

○沖合の漁場に比較的多く生き残ったアサリ小型貝（裏面図3）を、秋冬季の波浪減耗対策も含め岸側に移植し、アサリ漁場の早期回復を図った（水産多面的機能発揮対策事業）。

○被害の大きかった船橋漁協では、当面、ホンビノスガイの操業を行った。

*：水産多面的機能発揮対策事業

干潟機能の保全等水産業が持つ多面的機能を発揮するため、漁業者等が行う活動に対し助成を行う。

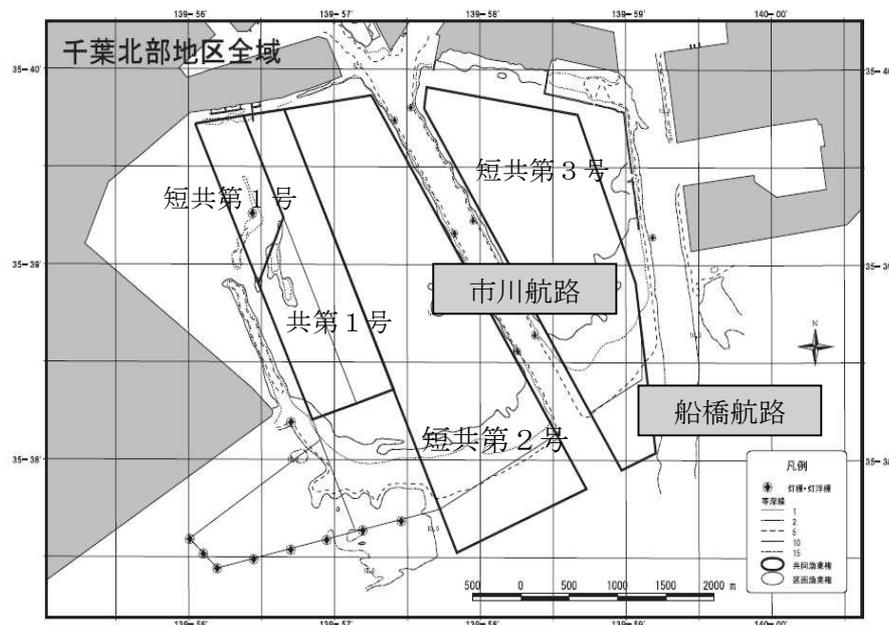


図1 三番瀬漁場図

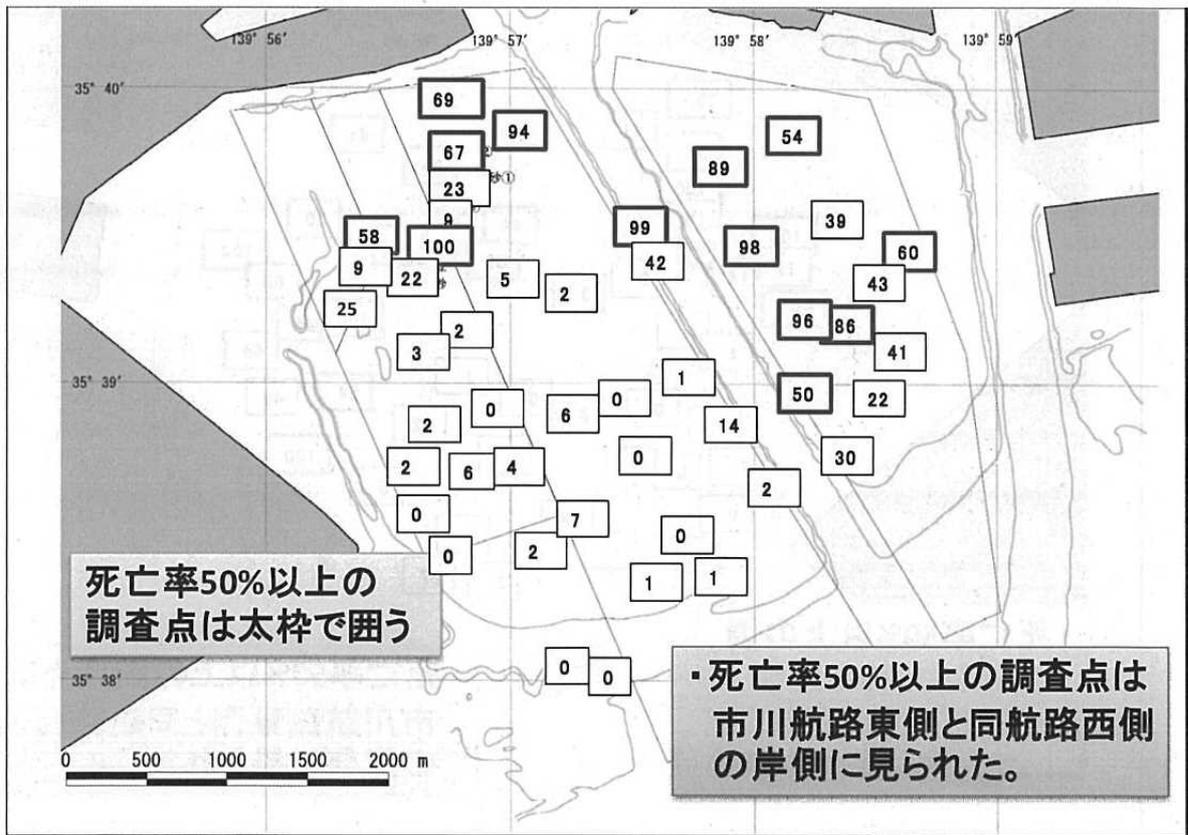


図2 アサリの死亡率（全殻長）

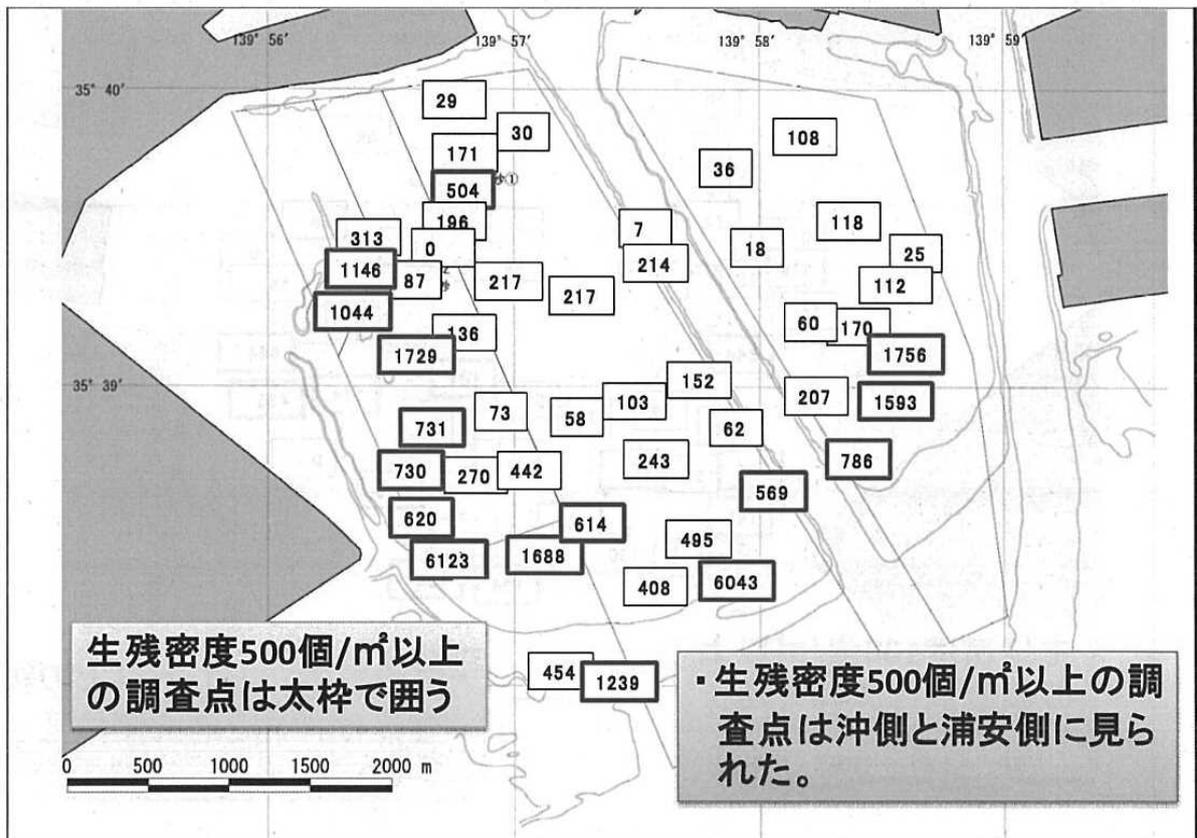
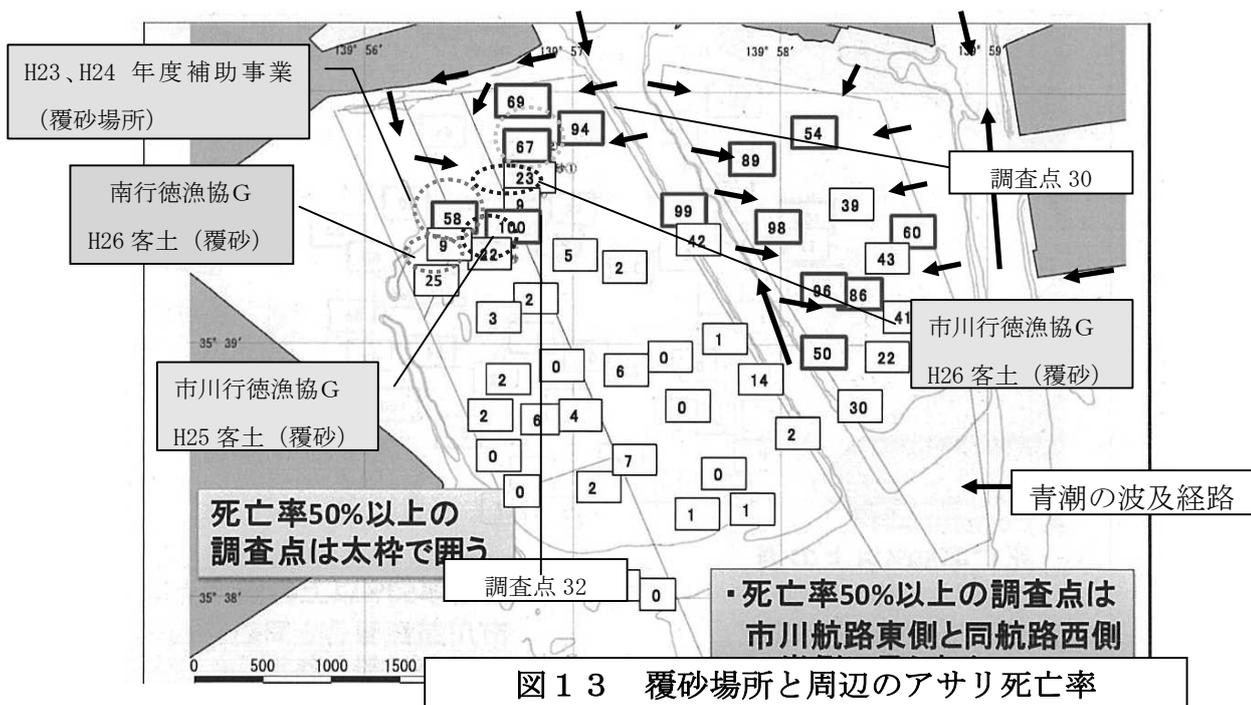
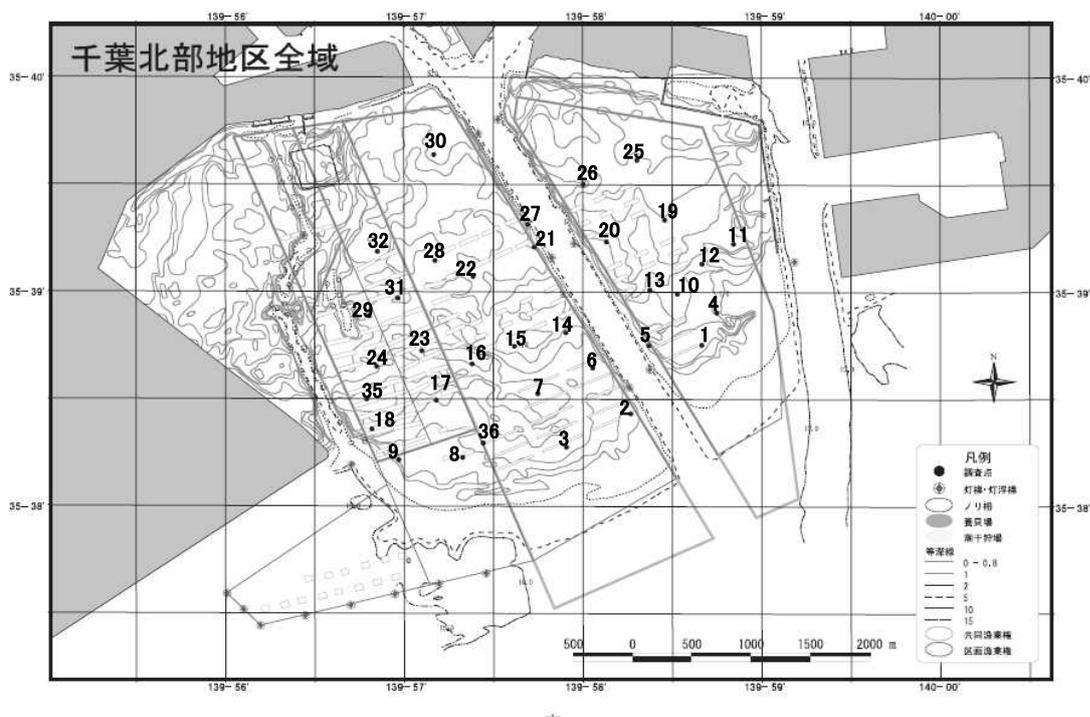


図3 アサリの生残密度（全殻長）



○青潮の波及時の生き残りが良くなる。

【結論】

○覆砂は、漁場改善手法として有効と考えられる。